
はろういん

やまだ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
はろういん

【Nコード】
N2276I

【作者名】
やまだ

【あらすじ】
変な生き物に取りつかれたおとこのこ

ゆうちゃんと名前をつけた、変な生き物が西原のところに住み着いたのは4日前だ。困ったよ、バイトから家に帰ったらいたんだよ、居間に。西原は笑いながら言った。俺はもしもいきなりウチにあんな生き物がいたら決断して笑えないと思った。ゆうちゃんなんて名前もつけない。学校の廊下に立つて、西原とゆうちゃんとか住み着いたとか言う話を俺達はしていた。肝心なことは、公衆の面前ゆえ話さない。俺たちの脇を過ぎていく人たちは、俺達の話をおよつと聞くと、ごく普通の犬や猫の話でもしているだろうと思うだろう。決してゆうちゃんが直径1メートルの力ボチャの化け物とは思わなだらう。肝心なこととはそれだ。

ゆうちゃんはダイダイ色の力ボチャそのものの形だ、しかも八口ウインの力ボチャのように、不気味な笑顔の形がくり抜かれている。こいつ、トリックオアトリートとか言うんじゃないかね？と、俺は西原の携帯の待受にある、ゆうちゃんの写メを見て言った。

ゆうちゃんはどやって移動するというと、力ボチャ（便宜的にそう言う）のくり抜かれた空洞から複数の黒い糸を出して体を浮かすからしい。そして、火星人のように細い糸をたくさん出して立つ、それくねくねと動かして歩く。

なんでゆうちゃんって名前なの？と俺は西原に言った。昔飼ってた犬の名前、と答えられた。

ゆうちゃんは時々窓を開けて外へ出るらしい。黒い糸を巧みに使って居間の窓ガラスの鍵を開ける。西原はその様子を実際に見たことがあるらしい。

ゆうちゃんは1、2時間出て行って、帰ってくる。すると決まって翌日近所の奥さん達が噂をするのを聞いた。ウチの子供が力ボチャの化け物に襲われた。と。

ヤバいじゃんそいつ捨てるよ！俺はいった。いや、こいつ意外とか

わいいんだよ。俺の説得は全く無視されて、あ、西原はゆうちゃんに洗脳されたのかもしれない。とも思った。

そもそも存在自体やばいし。

そついや今日10月30日だよな。ゆうちゃんもついなくなるんじゃない？

ハロウィン、終わるよ。

俺がそう言つと、え、でもゆうちゃん、カボチャじゃないし。といった。

ふざけんなお前ゆうちゃんの写メ俺以外のやつに見せてみるよ、100人中100人がこれはハロウィンのカボチャですね。っていうよ。

西原はやべーと大声で叫んで廊下を駆けていった。

授業が始まっても西原は戻らなかった。きつとゆうちゃんが心配で家に戻ったんだろつと俺は思った。

けれど翌日、その翌翌日、一週間たつても西原は学校に来なかった。俺は西原の住むアパートを知らなかったことを後悔した。

西原とゆうちゃんが消えた後、俺はニュースで子供が5人消えた事件を聞いた。

目撃者の子供は公園で遊んでいると、魔女の帽子を被ったスーツの男がお菓子をあげるからついておいで、と子供たちを連れ去ったらしい。男は大きなカボチャを持っていた。

トリックオアトリート。

俺は大きく叫んだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2276i/>

はろういん

2010年12月2日15時19分発行